

# News Release

2026年3月13日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2026 年 3 月 11 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

## CHINAPLAS 2026: BASF、Freeflex® (フリーフレックス)TPU をベースとした、高性能エレクトロスピンニング技術によるイノベーションにおいて Niber Technologies と協業

- Niber Technologies 社製アウトドアジャケットに、TPU ベースのエレクトロスピンニング技術による新開発のナノメンブレン、Freeflex®E 130 を採用
- 世界のアパレル・テキスタイル産業における規制強化とサステナビリティ要件の増大に伴い、Bluesign®認証を取得予定
- BASF は CHINAPLAS 2026 において、Freeflex® TPU をベースとした熔融紡糸イノベーションも展示
- BASF 出展: CHINAPLAS 2026、上海国家会展中心(National Exhibition and Convention Center, Shanghai)、ブース番号 7.2C41

中国 上海 - 2026 年 3 月 11 日 – BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は CHINAPLAS 2026 において、エレクトロスピンニング技術のトップ企業である Niber Technologies, Pte. Ltd. (本社:シンガポール、以下 Niber Technologies)との協業によって開発したアウトドアジャケットを展示します。このジャケットには新たに開発された、熱可塑性ポリウレタン(TPU)ベースのエレクトロスピンニング技術によるナノメンブレン、Freeflex®(フリーフレックス) E 130 が採用されています。

Niber Technologies の CEO である Jaehyung Park 氏は、次のように述べています。「BASF との協業によって、超軽量で柔らかな肌触りの快適なアウトドアジャケットを開発

することができました。このジャケットは、優れたメンブレン均一性と高い水蒸気透過率 (MVTR) を備えており、ラミネート加工の温度耐性が向上したことでメンブレンの応用範囲が広がりました。ペルフルオロアルキル物質およびポリフルオロアルキル物質 (PFAS) を使用することなく製造された TPU ベースのメンブレンは、従来の ePTFE (拡張ポリテトラフルオロエチレン) に代わる持続可能な選択肢です。」

この卓越した性能特性は、エレクトロスピニング技術により 0.5  $\mu\text{m}$  の超微細繊維を形成する Freeflex<sup>®</sup> の能力によって実現したものであり、高多孔性でありながら保護機能を備えたメンブレン層となっています。

BASF はエレクトロスピニング技術のイノベーションに加え、Freeflex<sup>®</sup> 溶融紡糸 TPU 繊維を 15% 含有する PP (ポリプロピレン) / PET (ポリエチレンテレフタレート) 製のスポーツウェアも展示します。この製品は快適な着心地と速乾性を提供するとともに、アクティブウェアとして伸縮性と耐久性を強化しています。REACH 規則に準拠し、Oeko-Tex<sup>®</sup> エコパスポートを取得している Freeflex<sup>®</sup> 溶融紡糸繊維は、テキスタイル用途における厳格な安全性および化学物質透明性基準を満たしています。

Freeflex<sup>®</sup> のエレクトロスピニング技術によるナノメンブレンの性能と、溶融紡糸繊維の汎用性によって、次世代の機能性アパレルの設計・開発を実現できるようになります。さらに Freeflex<sup>®</sup> は Bluesign<sup>®</sup> 認証の取得を進めており、2026 年中に準備を整えて、世界のアパレル・テキスタイル産業における規制強化とサステナビリティ要件の増大に対応します。

BASF パフォーマンスマテリアルズ事業本部アジア太平洋地域 TPU ビジネスマネジメント担当バイスプレジデントであるロヒット・ループ・ゴーシュは、次のように述べています。「Freeflex<sup>®</sup> ポートフォリオ全体に Bluesign<sup>®</sup> 認証を追加することで、BASF は高性能で規制に適合し、環境を意識した素材ソリューションを求めるアパレルおよびテキスタイル業界のお客様とともに、持続可能な変革を推進することを目指しています。この取り組みによって、よりクリーンな材料、責任ある生産、そして性能重視のテキスタイルイノベーションに対する BASF のコミットメントがさらに強化されることとなります。」

### ■BASFのパフォーマンスマテリアルズ事業本部について

BASFのパフォーマンスマテリアルズ事業本部は、持続可能性と高性能を両立させることで、プラスチック業界の変革をリードしています。材料に関する専門知識、深い業界知見、そして幅広い製品ポートフォリオを活かし、プラスチックのライフサイクル全体にわたる包括的なソリューションを提供するパートナーとして選ばれています。専任のマテリアルフォーカスチーム、強力な研究開発力、そしてお客様に近い場所に展開するグローバルな生産ネットワークを通じて、地域や業界特有のニーズに対応した最適なソリューションを提供しています。当社の製品は、自動車、建築、消費財、産業用途といった主要分野における性能と効率の向上に貢献しています。パートナーの皆さまと共に、より循環型で持続可能な未来に向けた#OurPlasticsJourneyを歩んでいます。2025年、パフォーマンスマテリアルズ部門の世界売上高は64億ユーロとなりました。

LinkedInの#OurPlasticsJourneyにぜひご参加ください：

[https://on.basf.com/PM\\_LinkedIn](https://on.basf.com/PM_LinkedIn)

ニュースレターの登録はこちら：[https://on.basf.com/PM\\_Newsletter](https://on.basf.com/PM_Newsletter)

詳細情報：<https://www.performance-materials.basf.com>

### ■BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追求しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約108,000人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション&ケア)、スタンドアロン事業の事業セグメント(サーフェステクノロジー、アグロソリューション)から成ります。2025年のBASFの売上高は600億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASFの詳細情報は<https://www.basf.com/global/en.html>をご覧ください。